

■施策評価シート 1-01-①

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち	分野	人権
基本方針	人権の尊重	基本方針に関連するSDGsの目標	    
施策番号	1-01-①	施策名	人権文化の醸成

施策の概要

すべての人の基本的人権の尊重と恒久平和を誓うまちづくりを推進するため、各種の啓発事業や市民活動への支援、人権教育の機会づくり等を進めます。

成果指標(単位)	「人権の尊重」について満足している市民の割合(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		27.0	28.0	29.0	30.0
実績値	26.3	30.9	27.5	30.2	34.3

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、「人権の尊重」について満足している市民の割合は前年度に比べ4.1ポイント増加し、目標値を4.3ポイント上回った。これまで継続して取り組んできた啓発・教育活動が、満足度上昇の一つの原因になったと考えられる。

施策の達成度評価

市、地域および企業で実施している人権教育・啓発の各事業への参加者の評価は高いことから、今後も引き続き、市民ニーズ等社会情勢を見極めながら、効果的な啓発・教育を展開する必要がある。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

人権を取り巻く社会情勢の変化に注視するとともに、事業の実施について、関係団体等と連携しながら事業内容や手法をさらに創意工夫し、その効果を検証しながら、人権擁護の必要性を広く市民に周知できるよう、事業を展開していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
人権擁護平和啓発推進事業	人権政策課	○	草津市平和祈念のつどいを開催し、人権尊重と恒久平和の願いを訴え、平和意識の高揚を図ることができた。
人権と平和を守る都市宣言啓発事業	人権センター	○	「戦争と平和」をテーマに、「いのち・愛・人権のつどい」を開催した。アンケート結果から「人権への関心が深まった」という回答が98.0%であり、人権意識の醸成を図ることができた。
人権センター自主事業	人権センター	○	人権セミナーを全8回開催した。アンケート結果では「人権への関心が深まった」という回答が99.7%であり、人権意識の醸成を図ることができた。
市民のつどい開催事業	人権センター	○	人権尊重の大切さを学び、部落差別の解消をめざして「人権尊重と部落解放をめざす市民のつどい」を開催した。アンケート結果では「人権への関心が深まった」という回答が100%であり、同和問題への理解を深めることができた。

■施策評価シート 1-01-①

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
女性集会開催事業	人権センター	○	「草津市部落解放女性のつどい」を「部落差別の過去から学び 未来へつなげる」をテーマに開催した。参加者のアンケートでは内容について「よく伝わった」「伝わった」が100%であり、同和問題への理解を深めることができた。
青年集会開催事業	人権センター	○	「草津市部落解放青年集会」を「今が自分をかえるチャンス～何のため？誰のため？～」をテーマに開催した。参加者のアンケートではテーマについて「深く考えられた」「考えられた」が99.4%であり、同和問題への理解を深めることができた。
企業内人権啓発推進事業	商工観光労政課	○	草津市企業同和教育推進協議会において6回の研修会の開催、該当啓発活動への参加に加えて市、商工会議所および公共職業安定所職員で、企業へ訪問等による啓発を実施したことにより、企業の人権意識の向上に寄与したと考える。
人権・同和教育研究大会開催事業	児童生徒支援課	○	全体講演会での講演内容が分科会における意見交流に反映される分科会もあり、討議が深まった。それによって「人権の尊重」に関しての意識が高まった意見も得ることができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
各種研究会参加費負担事務	人権センター
社会同和教育啓発事業	人権センター
社会同和教育推進事務	人権センター
社会同和教育推進者研修事業	人権センター
同和教育推進協議会活動事業	人権センター
同和問題市民講座開設事業	人権センター
社会教育関係団体活動費補助事業	人権センター
企業啓発指導員配置事業	商工観光労政課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事

■施策評価シート 1-01-②

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち	分野	人権
基本方針	人権の尊重	基本方針に関連するSDGsの目標	    
施策番号	1-01-②	施策名	人権の擁護

施策の概要

市民全体の人権擁護の推進を図るため、総合調整のもと、全庁的に人権を根底に据えた施策の推進を図ります。また、人権相談等の人権擁護活動の充実を図ります。

成果指標(単位)	「人権の尊重」について満足している市民の割合(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		27.0	28.0	29.0	30.0
実績値	26.3	30.9	27.5	30.2	34.3

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、「人権の尊重」について満足している市民の割合は前年度に比べ4.1ポイント増加し、令和6年度目標値を4.3ポイント上回った。
これまで継続的に取り組んできた人権教育・啓発や令和6年度からスタートしたパートナーシップ宣誓制度を通じて、すべての人があたたかい心を持ち合った明るく住みよいまちの実現に向けて推進することができたと考えます。

施策の達成度評価

「人権擁護に関する基本方針」の周知徹底や基本方針に即した各種事業を推進した。また、人権センターおよび各隣保館で行う相談事業等の人権擁護に関する取組の継続により、効果が現れているものと考えます。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

ロシアによるウクライナ侵攻等により人権や平和が脅かされている現状や、インターネットによる人権問題など社会情勢の変化を正しく認識し、人権センターや隣保館等における相談業務を中心に人権の擁護を図っていくとともに、人権擁護の必要性を広く市民に周知できるよう、引き続き各種事業を展開していく。また、隣保館等においては、令和5年2月に策定した「開かれた隣保館等の今後のあり方について基本方針」に基づき、広く市民に利用いただくものとする。これらにより、「人権の尊重」について満足している市民の割合を増やす。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
人権擁護推進事業	人権政策課	○	令和2年3月改訂の「人権擁護に関する基本方針」の周知徹底を図り、基本方針に即した各種事業を推進し、また、性の多様性や性的マイノリティの方々への理解を深め、誰もが人生のパートナーと安心して暮らせる社会の実現を目的としたパートナーシップ宣誓制度を令和6年4月に導入したことにより、人権意識を高めることができたため。
人権擁護推進協議会活動事業	人権センター	○	「いのち・愛・人権のつどい」および「人権尊重と部落解放をめざす市民のつどい」を開催し、人権について考えていただける機会を提供することができた。
人権センター運営事業	人権センター	○	人権相談業務を通じて人権擁護活動の充実を図ることができた。

■施策評価シート 1-01-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
住民交流啓発事業	人権政策課
新田会館等管理運営事務	人権政策課
西一会館等管理運営事務	人権政策課
橋岡会館等管理運営事務	人権政策課
環境改善維持整備事業	人権政策課
滋賀県市町人権問題連絡会等事務	人権政策課
常盤東総合センター等管理運営事務	人権政策課
人権総合調整推進事務	人権政策課
湖南地区職業対策推進事業	商工観光労政課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事

■施策評価シート 2-01-①

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち	分野	男女共同参画
基本方針	男女共同参画社会の構築	基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	2-01-①	施策名	男女共同参画社会の推進

施策の概要

男女共同参画の意識啓発やDV対策の強化等を行い、男女共同参画社会づくりを推進します。

成果指標(単位)	男女共同参画社会の構築について重要と思う市民の割合(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	51.2	52.5	53.8	55.1
実績値	49.9	57.4	56.4	56.4	55.4

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、男女共同参画社会の構築について重要と思う市民の割合は、前年度に比べて1ポイント減少したものの、目標を達成することができた。女性に対する暴力や困難な問題を抱える女性への支援に関する法律が施行されたことや、産業や地域活動といった様々な場面で人手不足が顕在化していること等から、男女共同参画の重要性が認識されてきているのではないかと考えている。

施策の達成度評価

令和3年4月に策定した「第4次草津市男女共同参画推進計画」に基づき、男女共同参画の意識啓発や女性活躍推進等の事業に取り組み、男女共同参画社会づくりを推進するとともに、相談事業や困難な問題を抱える女性に必要な支援につなげられるよう居場所事業等を行った。今後も国の重点施策を意識しながら事業を展開し、より効果をあげていく必要がある。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

男女共同参画社会の構築についての重要度は55.4%に対し、男女共同参画社会の構築についての満足度は24.7%と乖離している。令和8年度も、引き続き男女共同参画の意識啓発や女性の活躍推進にかかる事業等、関係機関と連携しながら、国の重点施策等の国の動向に合わせて実施していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
男女共同参画推進事業	男女共同参画センター	○	男女共同参画についての意識啓発、相談支援等を行い、期待どおり成果を得ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 2-01-②

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち	分野	男女共同参画
基本方針	男女共同参画社会の構築	基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	2-01-②	施策名	女性の活躍推進

施策の概要

女性の就労・起業支援、市政参画の促進やワーク・ライフ・バランスの啓発に努めます。

成果指標(単位)	市全体の審議会等における女性委員の割合(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	40.7	43.0	45.3	47.6
実績値	38.4	40.0	40.1	39.9	42.0

成果指標実績に対するコメント

市全体の審議会等における女性委員の割合については、前年度に比べ2.1ポイント増加したものの、目標を達成することができなかった。女性委員の推薦依頼を行うものの、団体からの推薦や職務を指定する委員については職業や役員に女性が少なく、女性比率が上がらないと考える。

施策の達成度評価

第4次草津市男女共同参画推進計画に基づき、女性の活躍推進に関する事業やフォーラム、政策・方針決定過程への女性の参画拡大についての啓発等を実施した。引き続き女性の活躍推進に関する事業を実施するとともに、ライフイベントやキャリア形成を両立できるよう、ワークライフバランスの推進や、男性も女性も協力し合い家事・育児・介護等に参画する機運を高めることが必要である。

評価に基づいた令和7年度の取組についての考え方

あらゆる分野での女性の参画や登用を着実に進めるため、起業や就業支援等の女性の活躍推進に関する事業、男性の家庭生活への参画促進に取り組む。また、市全体の審議会等における女性委員の参画率については、引き続き庁内部局と連携しながら向上に向け取り組んでいく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
女性活躍推進事業	男女共同参画センター	△	庁内部局と連携しながら女性の市政参画に取り組んだが、目標値に達することができなかったため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 3-01-①

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち	分野	学校教育
基本方針	子どもの生きる力を育む教育の推進	基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	3-01-①	施策名	豊かな心と健やかな体の育成

<p>施策の概要</p> <p>子どもの豊かな心の育成に向けて、道徳教育を進めるとともに、すべての子どもの多様性を受け入れるインクルーシブ教育を進めます。 小・中学校体力向上プロジェクトを推進し、「運動が好き」や「体育の授業が楽しい」という気持ちを大切にしながら、子どもの体力向上と健全な心身の育成を図ります。また、中学校給食の実施に向けた取組を進めます。</p>

成果指標(単位)	「自分にはよいところがあると思う」と答えた児童生徒の割合(%)【上段:小学6年 下段:中学3年】				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	84.0 74.0	84.5 74.5	85.0 75.0	85.5 75.5
実績値	78.5 76.1	79.6 75.0	81.1 74.5	82.8 74.7	83.8 78.8

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>全国学力・学習状況調査で「自分にはよいところがあると思う」と答えた児童生徒の割合は、前年度に比べ、小学6年生は1.0ポイント増加したものの目標には達しなかったが、中学3年生は4.1ポイント増加し目標を上回った。授業や学校生活において、こどもたちの自己肯定感を高め豊かな心が育まれるよう、児童生徒一人一人に対してきめ細かな支援を行い、成功体験を感じさせる場面を大切にできるよう取り組んできた成果が表れたものと考えます。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>発達障害等特別な教育支援を必要とするこどもの増加に伴い、インクルーシブサポーターの配置や医療的ケアが必要な児童のため看護師を配置するなど、特別支援教育の充実を図り、よりきめ細かい支援を行うことができた。また、小学校でスポーツに親しむ機会が充実し、アスリートとの関わりを通じて運動やスポーツの体験ができた。また、部活動指導員と部活動支援員の配置により、部活動指導の充実を図ることができた。</p>

<p>評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方</p> <p>児童生徒一人一人に対するきめ細やかな支援を大切に、こどもの自己肯定感を高め、心も体も健康になれる教育に取り組む。</p>

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
インクルーシブサポーター配置事業	児童生徒支援課	○	特別な教育支援を必要とするこどもの増加に伴い、障害にかかわらず地域で学ぶことができるよう、きめ細かい支援を行うとともに、特別支援教育の充実を図ることができたため。
医療的ケア支援員配置事業	児童生徒支援課	○	日常的にたんの吸引や経管栄養等の医療的ケアが必要な児童生徒に対し、きめ細かい支援を行うことができたため。
中学校体育推進事業	学校教育課	○	運動部活動指導員を派遣し、中学校の部活動が充実することで、こどもの体力の向上と健全な心身の醸成を図ることができた。また、部活動支援員の配置により、部活動における専門的な指導が充実し、継続してスポーツに取り組むこどもの育成を図ることができたため。
小学校体育推進事業	学校教育課	○	なわとびチャレンジを実施したことで、こどもたちのスポーツに親しむ機会が充実した。また、レッツエンジョイスポーツによって、スポーツを知る、見る、することの体験を通して、進んで運動しようとするこどもの育成を図ることができたため。

■施策評価シート 3-01-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
小学校給食材料購入事業	学校給食センター
小学校給食管理運営事業	学校給食センター
中学校給食材料購入事業	第二学校給食センター
中学校給食管理運営事業	第二学校給食センター
学校保健推進養護教諭配置事業	学校教育課
地域ぐるみの学校安全推進事業	学校教育課
中学校文化部活動推進事業	学校教育課
科学発表展覧会開催事業	学校教育課
学校環境衛生管理事業	学校教育課
学校災害賠償補償保険事務	学校教育課
学校保健推進事務事業	学校教育課
校医等配置事業	学校教育課
児童・生徒安全対策事業	学校教育課
児童・生徒等健康診断事業	学校教育課
児童就学援助事業	学校教育課
就学時健康診断事業	学校教育課
小学校特別支援教育就学奨励事業	学校教育課
生徒就学援助事業	学校教育課
体験実践活動推進事業	学校教育課
中学校特別支援教育就学奨励事業	学校教育課
通学路対策事業	学校教育課
日本スポーツ振興センター負担金事務	学校教育課
教育支援委員会運営事務	児童生徒支援課
ことばの教室運営事業	児童生徒支援課
フリースクール利用支援事業	児童生徒支援課
高校生等人権教育活動事業	児童生徒支援課
自主活動学級開設事業	児童生徒支援課
人権教育推進事業	児童生徒支援課
生徒指導推進事業	児童生徒支援課
同和教育指導推進事業	児童生徒支援課
特別支援教育運営事業	児童生徒支援課
青少年美術展覧会開催事業	学校政策推進課
体験実践活動推進事業	学校政策推進課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート 3-01-②

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち	分野	学校教育
基本方針	子どもの生きる力を育む教育の推進	基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	3-01-②	施策名	確かな学力の育成

<p>施策の概要</p> <p>子どもが確かな学力を身につけるため、ICT教育や英語教育の充実をはじめとした質の高い授業づくりや基礎的・基本的な知識および技能を生かして、思考力、判断力、表現力等を育む取組を進めます。</p>
--

成果指標(単位)	「授業がわかる」と感じている児童生徒の割合(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	88.45	88.60	88.75	88.90
実績値	88.30	89.30	88.70	89.10	89.50

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>アンケート調査の結果、「授業がわかる」と答えた児童生徒の割合は前年度より0.4ポイント増加し、目標値を達成することができた。児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善への継続した取組成果が表れたものとする。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>児童生徒が「知識・技能」や「学ぶ意欲」、「自ら課題を見つけ、主体的に学び、判断し、行動し、問題を解決する力」などを身につけられるよう、ICTを効果的に活用しながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した。研究指定校2校(小学校1校・中学校1校)を中心に、各教科の学習や英語教育において授業の工夫・改善に取り組み、その取組内容を他校とも共有することで、実践の広がりを図った。</p>
--

<p>評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方</p> <p>「授業がわかる」と答えた児童生徒の割合が増加傾向にあり、あわせて「電子黒板やタブレットを使った授業はわかりやすい」と回答した児童生徒が9割を超えるなど、ICTを活用した授業が日常的に行われている状況がうかがえる。今後は、これまで取り組んできた協働学習ソフトや家庭学習におけるAI型デジタルドリルの活用を一層深め、児童生徒一人ひとりの習熟度や学習スタイルに応じて、学び方や進度を柔軟に選べる授業づくりを進めていく。</p>
--

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
英語教育推進事業	学校政策推進課	○	市内全小中学校におけるALTの巡回指導や小学校オンライン授業の実施、市内4小学校へのJTE派遣により、英語教育の充実を図ることができたため。
学校ICT推進事業	学校政策推進課	○	ICT教育スーパーバイザーと連携し、ICT支援員による学校訪問や研修会を実施することで、教職員がICTの活用方法について理解を深める機会を設けた。これにより、ICTを取り入れた授業の工夫が進められ、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの充実を図る取組が継続的に行われたため。
子ども読書活動推進事業	学校教育課	○	全小中学校に学校司書を配置し、学校図書館の環境整備や図書資料を活用した授業の支援等を行い、学校図書館の活性化や児童生徒の読書活動を推進することができたため。
小1学びの基礎育成事業	児童生徒支援課	○	小学校14校において、タブレットPCを活用しながら、児童の読みの力を分析・把握し、一人一人の課題に応じた多層指導モデル(MIM)による「読み」の指導を行ったため。

■施策評価シート 3-01-②

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
子ども読書活動推進事業	生涯学習課	○	乳幼児健診時等に、家庭読書の啓発チラシの配布や絵本展示を実施し、家庭での読書活動の啓発に努めることができた。また、アートフェスタくさつにおいて「絵本のひろば」ブース設置や「えほんクイズラリー」を実施するなど、こどもの読書活動の啓発および推進を図ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
教育委員会運営事業	教育総務課
教育委員会事務局運営事業	教育総務課
学校教育支援教員配置事業	学校教育課
授業充実加配教員配置事業	学校教育課
スクールESDくさつ推進事業	学校教育課
学びの教室開催事業	児童生徒支援課
学力向上重点事業	学校政策推進課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート 3-02-①

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち	分野	学校教育
基本方針	学校の教育力の向上	基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	3-02-①	施策名	教職員の指導力の向上

<p>施策の概要</p> <p>教育の今日的課題に対応するため、各種研修講座(人権教育、教科教育、生徒指導、教育相談、特別支援教育、道徳教育、英語教育等)を開催するとともに、スキルアップアドバイザーを派遣し、各校でのOJT体制について指導・支援を行い、教職員の指導力の向上を図ります。</p>

成果指標(単位)	「学校が楽しい」と感じている児童生徒の割合(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		91.5	92.2	92.9	93.6
実績値	90.8	90.4	90.0	89.1	90.1

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>実績値は目標値を下回っているが、前年度に比べ1ポイント増加し、高い水準となっている。教員が講座、研修等で学んだことを活かし、令和6年度から市内全校での実施となった「スクールESDくさつ推進事業」や、各教科の学習でこどもたちの主体的な学びや協働的な学びを実践していることが一つの要因として考えられる。また、教育相談や特別支援教育の視点を生かし、児童生徒が安心してすごせる学級・学校づくりが進んでいることも要因と考えられる。今後についても、教職員のさらなる資質の向上のため、継続した取組が必要である。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>各種研修講座やスキルアップアドバイザーの派遣等の施策を実施するとともに、校内OJTの充実等、学校現場の課題に即した学びの場を作っている。また、令和6年度から全20小中学校にて実施することとなったスクールESDの取組については、各校1名ずつのESD推進リーダーを対象とした年間5回の研修や、市教委に配置したESDアドバイザーによる日常的なフォローアップを行うことで、各校において児童生徒を中心に据えた効果的な学習を行うことができた。</p>

<p>評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方</p> <p>学習指導力向上や学校現場の課題への対応力向上のため、管理職の指導・助言のもと、各校の実情に応じたOJTが進むよう、研修会の実施等により各校での体制づくりを支援する。また、スクールESDの取組については、各校におけるESD推進リーダーを対象にESDティーチャー養成プログラムを実施し、スクールESDの取組を充実させるとともに、児童生徒の主体的な学びになるような授業展開を「総合」の学習だけでなく、学校全体での取組となるよう努める。</p>

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
教職員研修事業	学校教育課	○	学力向上マネジメント会議や経験年数に応じた研修会、各教科等部会での授業研究会、講演会等を行い、教職員の実践力を高められたため。
講座開設事業	教育研究所	○	教職員の資質向上や学力向上等、次期教育振興基本計画を見据えた研修を実施することができたため。
スキルアップアドバイザー配置事業	教育研究所	○	各学校のニーズに応じてアドバイザーの派遣を行い、教員の資質向上ならびにICT活用力向上に関する支援を行うことができたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
教育研究所指導員配置事業	教育研究所
教育研究所運営事務	教育研究所
教育調査研究事業	教育研究所

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 3-02-②

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち	分野	学校教育
基本方針	学校の教育力の向上	基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	3-02-②	施策名	学校経営の充実

施策の概要

コミュニティ・スクールを推進し、地域と連携した学校経営の充実を図ります。また、教職員（市費負担による加配教員）をはじめ、スクールソーシャルワーカーや家庭学習サポーター等を配置し、学校の指導体制や運営体制の支援に取り組みます。

成果指標(単位)	「学校が楽しい」と感じている児童生徒の割合(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		91.5	92.2	92.9	93.6
実績値	90.8	90.4	90.0	89.1	90.1

成果指標実績に対するコメント

児童生徒へのアンケート調査の結果、「学校が楽しい」と答えた児童生徒の割合は目標値には到達していないものの、実績値は、令和5年度と比較すると1ポイント増加し、9割の児童生徒が「学校が楽しい」と回答しており、教室アシスタントやスクール・サポート・スタッフ等の配置により、児童生徒へのきめ細やかな対応を行ったことに対して児童生徒の評価が表れているものと考えられる。

施策の達成度評価

教職員が、いじめや不登校等の課題に対してチームで対応する体制の整備が進み、校内外の人材を活かした連携による対応がより広がってきている。また、教室アシスタントやスクール・サポート・スタッフ等の活用も定着し、児童生徒への支援がより行き届くようになってきている。今後は、コミュニティ・スクールの充実を図る中で、地域人材やボランティアの積極的な参画も視野に入れ、さらに質の高い学校経営の在り方について検討を深めていく必要がある。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

保護者や地域、関係機関と連携し、課題に対して組織的かつ継続的に対応できる学校経営を推進するため、コミュニティ・スクールの充実、強化を図る。また、「チーム学校」の体制づくりを継続し、学校へスクールソーシャルワーカー等の専門職や支援員を配置するとともに、専門職へのつなぎ役となる教員の育成ができるよう研修の充実を図る。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
コミュニティ・スクールくさつ推進事業	学校政策推進課	○	全小中学校にコミュニティ・スクールを導入し、学校・保護者・地域が継続的に関わる協働体制の構築に取り組んできたことにより、組織的な連携が図られ、協議において熟議を重ねる意識が高まってきた。また、スクールESDくさつの推進に向けて、地域との連携を意識した取組が各校で進められたため。
スクール・サポート・スタッフ配置事業	学校教育課	○	市内全小中学校に1名以上のスクール・サポート・スタッフを配置し、採点業務や児童生徒の学習支援等を行うことで、教員の負担を軽減し、学校の働き方改革の推進の一助となったため。
中学校生徒指導主事活動推進事業	児童生徒支援課	○	児童生徒の問題行動等の未然防止および早期発見・早期解消に向け、学校を中心とした取組を充実させるとともに、関係機関等との連携や啓発活動を行うことができたため。
教室アシスタント配置事業	児童生徒支援課	○	市内小中学校(小学校では第1学年全学級)に教室アシスタントを配置し、児童生徒へのきめ細やかな支援を行うことで、円滑な学校適応支援を行うことができたため。
学校問題サポートチーム運営事業	教育研究所	○	学校だけでは対応しきれないケースについて、福祉的な視点や法的な視点を取り入れながら指導・助言を受け、改善につながった。

■施策評価シート 3-02-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
学事管理事務	学校教育課
学校運営支援事業	学校教育課
学校基本調査事務	学校教育課
通学区域管理事務	学校教育課
学生ボランティア派遣事業	学校教育課
外国人児童生徒教育支援事業	児童生徒支援課
学校支援対策充実事業	児童生徒支援課
児童生徒支援事務	児童生徒支援課
学校問題相談支援事業	児童生徒支援課
児童通学支援事業	児童生徒支援課
学校運営支援事業	学校政策推進課
やまびこ教育相談室運営事業	教育研究所
学校運営支援事業	教育研究所

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート 3-02-③

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち	分野	学校教育
基本方針	学校の教育力の向上	基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	3-02-③	施策名	教育環境の充実

<p>施策の概要</p> <p>老朽化が進む小中学校の施設・設備の計画的な改修・更新を図るとともに、非構造部材の耐震対策を含めた点検・修繕等の維持管理に努めます。また、学校図書や学習教材等の充実を図るとともに、学校内における事務等の効率化を図るため、情報化の取組を推進します。</p>

成果指標(単位)	非構造部材の耐震化実施校率(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		65.0	70.0	70.0	75.0
実績値	65.0	65.0	70.0	70.0	75.0

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>計画どおり中学校1校(1期分)を実施したことにより、目標値を達成することができた。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>計画どおり工事を実施し、非構造部材の耐震対策を図ることができた。</p>
--

<p>評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方</p> <p>市内すべての小中学校で非構造部材の改修が完了するよう国の交付金を取り込みながら計画的に工事を進める。</p>

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
小学校大規模改修事業	教育総務課	○	計画どおり長寿命化改良工事に係る耐力度調査を実施することができたため。
中学校大規模改修事業	教育総務課	○	計画どおりトイレの改修を実施することができたため。
校務情報化推進事業	学校政策推進課	○	校務用コンピュータの維持管理を行い、校務支援システムの運用および学校・保護者・地域間の情報共有アプリ、学校ホームページへのCMSの活用により、校務の効率化を図ることができたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
小学校管理運営事業	教育総務課
小学校教育教材整備事業	教育総務課
小学校施設維持管理事業	教育総務課
中学校管理運営事業	教育総務課
中学校教育教材整備事業	教育総務課
中学校施設維持管理事業	教育総務課
中学校校舎等整備事業	教育総務課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート 4-01-①

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち	分野	生涯学習・スポーツ
基本方針	生涯学習の推進	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	4-01-①	施策名	家庭・地域での学びの充実

施策の概要

学校等の学習活動を地域の大人が支えることにより、学習内容を豊かにし、学びの効果を高めるとともに、大人自身のやりがいにもつながる地域学習社会を構築するため、地域人材による家庭教育および学校教育の支援を進め、大人と子どもが共に育つまちづくりを推進します。

成果指標(単位)	地域協働合校の推進に満足している市民の割合(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		22.0	22.0	22.5	22.5
実績値	21.5	16.9	17.2	16.5	19.2

成果指標実績に対するコメント

市内の14小学校および6中学校すべてにおいて、学校・家庭・地域が連携して地域協働合校を実施しており、子どもと大人が学び合い、共に育つ地域学習社会づくりを推進している。成果指標実績については目標値に達していないものの、前年度に比べ2.7ポイント増加しており、全小中学校において地域課題解決型の事業展開を進めることで、自ら考え行動できるこどもの育成に一定の成果が見られた。

施策の達成度評価

地域協働合校では、学校・地域・家庭が協働して地域の人材や資源を積極的に活用し、子どもと大人が多種多様な活動を実施しており、様々な経験や知識を持った地域の大人との交流を通じて、こどもの豊かな心の成長や大人自身のやりがいに繋げることができた。また、地域課題解決型の取組を進めることにより、地域社会のつながりやかかわりづくり、地域社会の創り手の育成の一助となった。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

市内全中学校に配置した地域コーディネーターを活用することで、新たな地域の教育資源や人材を活かし、様々な地域課題の解決に子どもたちが主体的にかかわることで、地域社会の一員としての意識と行動力を身に付けることを目指した取組を実施する。また、子どもと大人が共に学びあうことを通して、自ら考え、行動できる人材の育成に取り組むことで、地域で学びつながりの向上を図り、地域の担い手づくりや、持続可能な地域づくりを目指す。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
地域協働合校推進事業	生涯学習課	○	市内の全小中学校で学校と地域の連携による地域課題解決型の体験学習の事業を実施することで、大人と子どもがともに学び、持続可能な地域づくりを目指し、学習を実施することができたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
家庭教育推進事業	生涯学習課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 4-01-②

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち	分野	生涯学習・スポーツ
基本方針	生涯学習の推進	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	4-01-②	施策名	生涯学習機会の充実

<p>施策の概要</p> <p>誰もが、生涯にわたって学べるよう、大学等と連携した幅広い学習機会の提供や、学習ボランティアの育成・活用による学びの還元を図るとともに、多種多様な図書資料の充実に努め、図書館の利用を促す情報発信を積極的に行います。</p>
--

成果指標(単位)	「生涯学習の推進」に満足している市民の割合(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	14.2	14.7	15.2	15.7
実績値	13.7	21.2	21.3	23.5	24.1

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>市民意識調査の結果、「生涯学習の推進」に満足している市民の割合は前年度に比べ、0.6ポイント増加し、目標値を達成することができた。立命館大学との連携による「立命館×草津市びわこ講座」等の社会教育推進事業を推進し、市民への学習機会を提供するとともに、図書館においては、読書機会の充実に引き続き努め、移動図書館での小学校への巡回等、読書のまち推進事業を進めた結果、成果指標実績値の向上に繋がった。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>「立命館×草津市びわこ講座」は、対面講座形式とともに対面講義を収録したインターネット配信を併用し、市民の学習機会の確保に努めたほか、幅広いカテゴリーの講義を実施した結果、一定の効果が見られた。図書館においては、本館開館40周年を機に始めた読書のまち推進事業を令和6年度も継続して実施し、市全域での図書館サービスの充実に努めた結果、読書機会の創出に繋がった。</p>

<p>評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方</p> <p>「立命館×草津市びわこ講座」については、コース制を取り入れるなど市民ニーズを踏まえた講座を実施し、学習ボランティア活動については、引き続き冊子「ゆうゆうびとバンク」の発行等により情報提供を図るほか、中間支援組織との連携によりボランティア団体の活用を行うなど、広く生涯学習機会の提供を行う。また、令和7年度に策定の「草津市読書のまち推進計画」に基づき、さらなる読書機会の充実に努めるために、図書館の新規利用者の拡大を目指すとともに、全年齢、全市域での読書機会の充実に努める。</p>
--

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
社会教育推進事業	生涯学習課	○	立命館大学との共催により「立命館×草津市びわこ講座」を実施し、市民へ学習機会を提供することができたため。
学習ボランティア推進事業	生涯学習課	○	学習ボランティア人材バンク冊子「ゆうゆうびとバンク」の発行やバンク登録者の活動の場の提供支援により、学習ボランティア活動の推進を図ることができたため。
図書館運営事業	図書館	○	読書のまち推進事業を令和6年度も継続して実施し、市全域での図書館サービスを実施するとともに、今まで図書館を利用したことがない人にも来館のきっかけとなるように工夫したイベントを実施するなど、図書館利用の促進を図ることができたため。
南草津図書館運営事業	南草津図書館	○	

■施策評価シート 4-01-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
南草津図書館施設管理事業	南草津図書館
三ツ池計画予定地管理事業	生涯学習課
図書館施設管理事業	図書館

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 4-02-①

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち	分野	生涯学習・スポーツ
基本方針	スポーツの充実	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	4-02-①	施策名	スポーツ活動の推進

<p>生涯スポーツや競技スポーツ等の市民のスポーツ活動を進めるため、スポーツ協会・体育振興会・総合型地域スポーツクラブ・スポーツ推進委員・大学・企業等との協働によるスポーツ推進体制を強化し、誰もが気軽に参加できるスポーツから競技力の向上まで、各種事業を効率的・効果的に取り組みます。</p>

成果指標(単位)	20歳以上の人の週1回30分以上のスポーツ実施率(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	57.6	60.0	62.5	65.0
実績値	55.2	59.5	57.6	52.8	58.1

<p>市民意識調査の結果、20歳以上の人の週1回30分以上のスポーツ実施率の割合は、前年度に比べ5.3ポイント増加した。スポーツ関係団体と連携しながら、各種イベントや教室を開催し、身近にスポーツに親しむ機会を提供することができたことが増加に繋がったと考える。</p>

<p>スポーツ関係団体との連携により、市民がスポーツに親しむことができるよう、各種イベントや教室等を開催することで、スポーツに親しむ機会や環境を提供することができた。一方で目標値には届いていないことから、さらに市民が積極的にスポーツに取り組むことができるよう、各種事業の周知啓発に取り組む必要がある。</p>
--

<p>市民が積極的にスポーツに取り組むことができるよう、令和8年度より新たに開始する第3期草津市スポーツ推進計画に掲げる施策を推進しながら、各種スポーツイベントや教室等、市民がスポーツに関わることができる機会の充実を図る。</p>

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
市民スポーツ大会開催費補助事業	スポーツ推進課	○	市民スポーツ大会の開催を通じて、市民が競技スポーツに取り組み、また応援する機会を設けることができたため。
県民スポーツ大会等出場支援補助事業	スポーツ推進課	○	県民スポーツ大会出場に対する支援を行うことで、市民の競技力向上につながり、県内2位を獲得することができたため。
学校体育施設開放推進事業	スポーツ推進課	○	適切な維持管理を行い、市民が身近にスポーツの取り組むことのできる環境を提供することができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
駅伝競走大会開催費補助金事務	スポーツ推進課
スポーツ協会事業費補助金事務	スポーツ推進課
スポーツ少年団育成事業	スポーツ推進課
スポーツ推進委員活動推進事業	スポーツ推進課
スポーツ推進計画事業	スポーツ推進課
スポーツ推進審議会運営事業	スポーツ推進課
総合型地域スポーツクラブ補助事業	スポーツ推進課
チャレンジスポーツデー開催費補助金事務	スポーツ推進課
各種スポーツ団体活動支援事業	スポーツ推進課
各種大会出場者激励事業	スポーツ推進課
各種大会負担金事務	スポーツ推進課
各種大会補助金事務	スポーツ推進課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 4-02-②

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち	分野	生涯学習・スポーツ
基本方針	スポーツの充実	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	4-02-②	施策名	スポーツ環境の充実

施策の概要

社会体育施設の整備や適正な維持管理を行うとともに、指導者やボランティアの育成等を図ることで、誰もが快適にスポーツができる環境を整えます。また、国内トップレベルのスポーツ等の観戦機会の充実を図り、スポーツに対する関心を高めます。

成果指標(単位)	社会体育施設利用者満足度(5ポイント満点)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	3.70	3.77	3.84	3.92
実績値	3.63	3.65	3.59	3.63	3.63

成果指標実績に対するコメント

令和6年度の社会体育施設利用者満足度の全体平均は令和5年度から横ばいであり、目標値には届かなかった。引き続き、指定管理者と連携し、利用者の満足度向上に取り組む必要がある。

施策の達成度評価

施設の適切な維持管理を行うことで、スポーツ教室や講習会、スポーツ大会等を開催し、市民がスポーツに親しむ環境を提供することができた。引き続き、指定管理者と連携し、利用者満足度の向上に取り組む必要がある。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

多くの施設で老朽化が進んでおり、利用者が快適にスポーツを行うことができる環境を確保できるよう、計画的に整備・改修等を実施するとともに、引き続き、指定管理者と連携し、利用者の満足度向上に取り組む。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
社会体育施設管理運営事業	スポーツ推進課	○	各社会体育施設の計画的な修繕を行うなど、適切な維持管理を行うことができたため。
草津市立プール整備・運営事業	公園緑地課	○	前年度に引き続き工事を行い、令和6年8月に施設を供用開始することができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
(仮称)新志津運動公園整備基本計画策定業務	公園緑地課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 4-02-③

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち	分野	生涯学習・スポーツ
基本方針	スポーツの充実	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	4-02-③	施策名	第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の推進

施策の概要
 両大会の開催に向けて、多様な主体との連携・協働に取り組み、市民のスポーツ健康づくりの推進や交流人口の増加によるまちの活性化につなげます。

成果指標(単位)	草津市準備(実行)委員会の取組に参画した人数(人)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		300	1,000	1,500	5,500
実績値	0	254	1,956	5,792	14,077

成果指標実績に対するコメント
 両大会の開催に向けた実行委員会総会、常任委員会、専門委員会の開催や各種イベントでの啓発活動を通じて、多くの市民や団体に参画いただき、目標値を達成することができた。競技別リハーサル大会や各種イベントへの啓発ブース出展に加え、記念イベントの開催、ボランティアの積極的な募集や講習会の実施等により、目標値を上回ったものとする。

施策の達成度評価
 両大会の開催に向けた実行委員会の活動について、多くの市民や団体に参画いただくことができた。ボランティアの募集・活用や協賛による駅前装飾、市内商業施設での記念イベントの実施等により、多くの市民や団体がスポーツに親しんでいただける機会を創出することで市民のスポーツ健康づくりの推進を図るとともに、来草者に向けた草津市の魅力発信やおもてなしの取り組み等により交流人口の増加を図り、本大会の開催をまちの活性化につなげる必要がある。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方
 大会開催が一過性のイベントで終わってしまうことが無いよう、選手や観覧者、ボランティア、関係団体など「する」「みる」「ささえる」「しる」様々な立場で大会に参加いただいた市民や団体が、大会終了後も市行政に関わっていただけるような仕組みを構築する。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
国スポ・障スポ開催事業	国スポ・障スポ推進室	○	第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の開催に向け、草津市実行委員会の総会・常任委員会・専門委員会の開催等計画の実行を通じて、多様な主体とのさらなる連携強化や協働推進につなげることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について
 ◎ 期待を超える成果があった
 ○ 期待どおりの成果があった
 △ 期待未満の成果であった
 ※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 5-01-①

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち	分野	歴史・文化
基本方針	文化財の保存と活用	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	5-01-①	施策名	文化財の調査と保護の推進

施策の概要

数多くの貴重な歴史資産を次世代へ守り伝えるため、発掘調査をはじめとした各種の文化財調査を推進するとともに、市内に残る歴史資産の実態を解明し、その成果の公開と活用を進めます。また、国指定史跡等の地域と一体となった保存整備、文化財指定の推進、伝承者への支援など積極的な保存対策を講じます。

成果指標(単位)	文化財指定件数(件)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		95	96	96	97
実績値	94	94	94	94	94

成果指標実績に対するコメント

埋蔵文化財の発掘調査や各種文化財の保護助成事業等を継続して実施したものの、文化財指定件数は前年度と同数となった。市内に残る歴史資産の実態を解明し、その成果の公開と活用を積極的に進めながら、守るべき文化財の指定を計画的に行っていく必要がある。

施策の達成度評価

発掘調査の需要が多いものの、滞りなく調査事業を実施し遺跡の実態を適正に記録保持することができた。また、本市を代表する歴史資産である史跡草津宿本陣と史跡芦浦観音寺跡の整備について、計画的に事業進捗を図ることができた。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

史跡整備については、関係者との調整を図りながら計画的に実施していく必要がある。また、依然として発掘調査の需要は続くものと思われることから、適正な調査事業を継続していくよう努める。貴重な文化財を次世代に守り伝えていくため、文化財の指定や伝承者への支援についても関係機関と連携しながら取り組んでいく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
埋蔵文化財発掘調査事業	歴史文化財課	○	調査件数が多いものの、試掘、本発掘調査ともに計画どおり実施でき、遺跡の実態を適正に記録保持することができた。
宅地開発等関連遺跡発掘調査事業	歴史文化財課	○	開発事業等に伴う発掘調査業務と発掘調査整理業務を進め、遺跡の実態を適正に記録保持することができた。
史跡草津宿本陣整備事業	歴史文化財課	○	史跡草津宿本陣整備基本計画に基づき耐震補強工事を実施し、史跡の保存整備を進めることができた。
文化財保護助成事業	歴史文化財課	○	所有者に対し適正に保護助成を行うことで、文化財の保存管理、育成、活用を図ることができた。
史跡芦浦観音寺跡整備事業	歴史文化財課	○	史跡芦浦観音寺跡整備基本計画に基づき植栽整備工事や倉解体工事を実施するなど、史跡の保存整備を進めることができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
歴史資料管理事業	歴史文化財課
文化財保護推進事業	歴史文化財課
未指定文化財調査事業	歴史文化財課
重要文化財整備助成事業	歴史文化財課
史跡野路小野山製鉄遺跡整備事業	歴史文化財課
文化財保護審議会運営事業	歴史文化財課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 5-01-②

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち	分野	歴史・文化
基本方針	文化財の保存と活用	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	5-01-②	施策名	歴史資産を活かしたまちづくり

<p>施策の概要</p> <p>ふるさと意識の醸成や観光振興など、歴史資産を効果的に活用するまちづくりを推進するため、「草津市文化財保存活用地域計画」に基づき、史跡や伝統芸能、歴史的建造物など地域に根差した文化財を活かした事業を展開します。</p>
--

成果指標(単位)	文化財の保存・活用啓発活動の定員に対する応募者数(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		90.0	93.0	96.0	100.0
実績値	87.0	78.8	81.4	87.7	88.1

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>計画と比較して伸び悩みがあるものの、文化財の保存・活用啓発活動の定員に対する応募者数の割合は前年度に引き続き増加しており、文化財を活かした普及啓発が実施できていると考える。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>草津市文化財保存活用地域計画に基づき、市内小中学校や地域の取り組みとの連携、史跡草津宿本陣の特別公開および史跡芦浦観音寺跡での現地説明を行うなど幅広い年代層へ保存・活用啓発活動を実施することで、市民が地域の文化財に興味関心を持ち、ふるさと意識の醸成に一定の効果が見られた。</p>

<p>評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方</p> <p>草津市文化財保存活用地域計画に基づく事業進捗を図りつつ、市民がより興味関心を持つテーマや効果的な周知方法を考え、地域の歴史文化に親しむことができる機会を創出し、その価値や魅力を伝えるための普及啓発事業に取り組んでいく。</p>

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
文化財普及啓発事業	歴史文化財課	○	文化財を活用した取組を実施し、ふるさと意識の醸成に繋げることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 5-01-③

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち	分野	歴史・文化
基本方針	文化財の保存と活用	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	5-01-③	施策名	歴史文化に親しむ機会の創出

施策の概要

地域で育まれた豊かな歴史文化の価値や魅力を、より広く、わかりやすく伝えるため、積極的に情報発信を行うとともに、より多くの市民に草津の歴史文化に触れ、親しむ機会を創出し、次世代へ継承します。

成果指標(単位)	史跡草津宿本陣・草津宿街道交流館の年間入館者数(人)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		34,500	35,500	36,500	37,500
実績値	12,454	18,544	25,471	26,352	12,401

成果指標実績に対するコメント

入館者数は、史跡草津宿本陣の耐震工事による休館のため、目標に届かなかったと考えられる。

施策の達成度評価

史跡草津宿本陣が耐震工事により、休館となるため、昨年度に増してホームページやSNS等による情報発信に力を入れ、情報発信件数を増加させた。今後も文化財保存活用地域計画、歴史文化(史跡草津宿本陣)活用プロジェクトチーム提案に基づき、事業の検討および実施が必要である。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

令和8年度は、史跡草津宿本陣の一般公開を開始してから30周年の記念の年であるため、歴史文化(史跡草津宿本陣)活用プロジェクトチーム提案に基づき、地域や関連団体と協力した事業を創出するとともに、これらの事業をSNS等により情報発信に取り組んでいく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
史跡草津宿本陣管理事業	草津宿街道交流館	○	本陣の耐震工事により10か月の休館を行い来館者は減少したが、SNS等を活用し情報発信件数を前年より増加させるとともに、工事中や完成時の特別公開の機会を創出しました。
草津宿街道交流館運営事業	草津宿街道交流館	○	本陣の耐震工事による長期休館の影響を受け来館者は減少したが、SNS等を活用し館事業等の情報発信件数を前年より増加させた結果、単館券での入館者数を前年度より増加させることができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート 5-02-①

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち	分野	歴史・文化
基本方針	文化・芸術の振興	基本方針に関連するSDGsの目標	4  17 
施策番号	5-02-①	施策名	文化・芸術活動の推進

施策の概要

文化振興条例および計画に基づいて、多様な主体と連携し、地域の文化的資産を活用しながら各文化振興施策を展開し、市民の日々の創作活動の奨励と様々な発表・展示・鑑賞の機会と場の提供を図り、より一層の文化・芸術の振興に取り組みます。

成果指標(単位)	文化・芸術の振興が図れていると思う市民の割合(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		21.4	21.6	21.8	22.0
実績値	21.2	21.8	23.5	24.3	26.3

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、文化・芸術の振興が図れていると思う市民の割合は前年度に比べ、2.0%増加し目標値を達成することができた。草津市美術展覧会において新たな部門にイラストを加えることで出品者の裾野を広げ、内容の充実を図ったこと、アートフェスタくさつにおいて子どもから大人までが楽しめるバラエティに富んだワークショップを開催するなど、文化芸術の振興に向けた取組が市民の評価に表れたものとする。

施策の達成度評価

アートフェスタくさつ、草津市美術展覧会、草津キッズシネマ塾、俳句入門講座など、多様な事業を展開した結果、市民の文化・芸術の振興に一定の効果が見られた。今後、これらの事業がより効果的なものとなるよう、地元との連携をより強化した取組、地域の魅力の再発見につながるような取組を展開するなど、さらに工夫を凝らした事業を実施していく。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

これまでの事業を円滑に実施するとともに、誰でも気軽に楽しくアートを体感できる講座の地元での展開、文化施設の適切な維持管理を行うことなどにより、文化・芸術活動の体験の場、文化・芸術活動の発表と文化を通じた出会いや交流の場を拡充させ、さらなる市民の文化・芸術の振興を図る。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
市美術展覧会開催事業	生涯学習課	○	新たにイラスト部門を加え、市民により充実した発表・鑑賞の機会を提供できたため。
市民文化芸術活動支援事業	生涯学習課	○	アートフェスタくさつや草津キッズシネマ塾など、産官民の協働による文化振興に取り組むことができたため。
俳句のまちづくり事業	生涯学習課	○	青少年俳句大会、ふるさと草津俳句会、宗鑑忌俳句大会、俳句入門講座の開催により、市民が俳句に親しむ多くの機会を提供できたため。
文化ホール管理運営事業	生涯学習課	○	文化活動の拠点施設として、指定管理者による適切な施設管理と文化事業の展開をするとともに、令和7年度の指定管理の更新にあたり、社会情勢等を適切に反映した仕様をまとめ、協定を締結することができたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。